

おいしかったマンゴー

5月21日(金)の朝、たくさんのマンゴーが成田空港の植物検疫を経て、農大稲花小に到着しました。国際農業開発学科の卒業生 山崎 忠 様から、本校児童へのプレゼントです。

タイを中心にビジネスをされている山崎 様の会社の方々や農大の学生さんが、1年生には2個、2年生と3年生には3個のマンゴーを、食べ方の説明書とともに袋詰めする作業をしてくださいました。

なめらかな食感があり、甘みのバランスが良いマハチャノックという種類です。そして、この日、農大稲花小の全児童が、マンゴーを家庭に持ち帰りました。田植えから帰ってきた1年生も、いつもよりとっても重くなったランドセルで帰宅しました。週末はご家庭で、食育ミニ講座で東京農業大学 志和地教授から学んだ内容(学校だより第83号ご参照)とともに、マンゴーの話が弾んだことと思います。

月曜日の朝は、マンゴーのおいしかったこと、何回にも分けて食べたこと、種の形にびっくりしたことなどが、登校してきた児童から口々に伝えられました。家族とともに、おいしく楽しい経験ができたようです。上級生になると、農作物の流通についても学習することになります。タイからのマンゴーがどのように育てられ、日本に運ばれ、日本の消費者に届くのか、タイってどんな国なのか、熱帯果実はほかにどんなものがあるのか…….マンゴーのさわやかな甘さと児童の学びがしっかりと結びつくことでしょう。



日本農業新聞に掲載されました

5月21日(金)に横浜市青葉区田奈の水田(田奈の田んぼ)で行われた本校1年生の田植えは、日本農業新聞 に取材していただき、22日(土)の朝刊に掲載されました。記事には、田植えの様子やその写真とともに、インタビューを受けた児童のコメントも取り上げていただきました。次回は6月に、田んぼの土・水環境やそこに生息する生き物を観察したり、都市農業について学ぶために、2年生と3年生がそれぞれ、田奈の田んぼに行く予定です。

【 参 考 】日本農業新聞 <https://www.agrinews.co.jp/>

たくさんの応募に感謝

5月29日(土)の本校運動競技会(以下、運動会)では、新型コロナウイルス感染防止の観点から、保護者の皆様にご来校いただくことはできないと判断し、オンライン(Zoom)での運動会参観をお願いすることになりました。タブレットのカメラを利用し、各クラスごとの様子をお届けするためには、たくさんの撮影者が必要です。そこで教育後援会・保護者の皆様にボランティアでのご協力をお願いしたところ、なんと全校児童数の3分の1を超える75名からの応募をいただきました。たくさんのご応募は、本当に有難くうれしいことでしたが、(乱数表を使って!)厳正に選ばせていただき、合計19名の保護者にボランティアをお願いした次第です。十分な打ち合わせもしないままでご心配やご苦勞をおかけしましたが、運動会の当日、ボランティアの皆様はお互いに協力しながら、素晴らしい活動をしてくださいました。ご家庭で視聴された保護者の皆様も、クラスごとの画像をご覧いただけたと思います。ボランティアの皆様だけでなく、今回、応募された皆様にも、篤く御礼申し上げます。

皆既月食

5月26日(水)は皆既月食でした。また、その夜の満月は、2021年で地球に最も近い満月(スーパームーン)でもありました。皆既月食を楽しみにしていた児童もいたことでしょう。

本校では今年、理科室に新しく天体望遠鏡を購入しました。そこで、この天体望遠鏡を初めて使って皆既月食を見ようと考え、南東に向かって開けている本校のプールサイドで月の出を待ちました。残念ながらの曇天で、皆既月食を見ることはできませんでしたが、児童とともにこの天体望遠鏡を使っての学びができる日が、ますます楽しみになりました。

献立会議

5月27日(木)は、本校の「献立会議」の日でした。栄養教諭、養護教諭、そして給食調理の委託先である株式会社共立メンテナンスのご担当者様が、毎月の給食の献立、アレルギーのある児童

への対応そのほかを検討し、決定する会議です。食育教育の大切な柱でもある給食が、安全に提供できるように、様々な工夫や努力が行われているのです。

3年生に手伝ってもらってきた1年生の給食の配膳ですが、1年生による配膳も順調です。配膳には衛生についての理解、分量を把握する力、さらに、トングやお玉を操る器用さなど、様々な力が必要です。三角巾を身につけるのが難しい1年生もまだいるようですが、きっとすぐにできるようになることでしょう。給食での配膳を機会に、家庭でのお手伝いの幅が広がることも、期待しています。

農大稲花小の児童は、給食を通して栄養だけでなく、様々な力をつけていくのです。

【 参 考 】 株式会社共立メンテナンス <https://www.kyoritsugroup.co.jp/>

運動競技会

5月29日(土)、運動競技会(以下、運動会)が行われました。2019年5月には本校第一期生である1年生だけの運動会を行いましたが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止のための一斉臨時休業により、運動会を行うことができませんでした。今年もまた、緊急事態宣言発令下ではありましたが、1年生、2年生、そして3年生がそろった運動会を開くこととなりました。

教員は、各学年の発達段階に合わせた競技を準備し、指導しました。本校では運動会のために特別に時間をとっての練習はしない方針ですが、体育の授業や学級の時間を使いながら、必要な準備をしてきました。1年生代表による開会宣言にはじまり、各学年の集団競技や徒競走が繰り広げられました。最後は、3学年が協力してダイコン(実は、ダイコンの形の風船)を運ぶ「だいこんリレー」です。このリレーでは、上級生は下級生をやさしく助け、下級生は上級生に助けられて一層のがんばりを見せるという、素敵なチームワークを発揮していました。

運動会では、自分の競技をがんばること、それだけでなく、友だちのがんばりをよく見て応援すること、勝ちたい気持ちに負けずにルールを守ること、そして、友だち同士、また、学年を越えて助け合いながら楽しく過ごすことを目指しましたが、児童はその期待に応えてくれました。大きな声援も、途切れることはありませんでした。

学校法人東京農業大学 大澤貴寿理事長が運動会の全プログラムをご覧になったほか、東京農業大学第一高等学校・中等部 田中越郎校長、紙谷知行教頭にもお出かけいただきました。当日は、お隣にある中等部の運動会も行われていたのです。新型コロナウイルスの蔓延が収まって、中学生と小学生と一緒に運動会が楽しめる日がくることも願われた日でした。

オンラインでの運動会参観にご理解くださいました保護者の皆様にも、御礼申し上げます。

校長 夏秋 啓子